

2017年度前期 授業アンケート結果集計 (演習・実験・実習)

<全学集計>

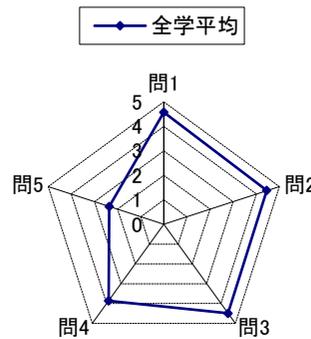
■集計グループ	全学集計
■履修登録者数	2,311人
■アンケート回答数	2,134人
■回収率	92.3%
■学生所属学部	

学部名	回答件数	構成比
教育学部	0	0.0%
外国語学部	0	0.0%
経済情報学部	0	0.0%
看護学部	0	0.0%
羽島教養(合同)	0	0.0%
短期大学部	2,074	97.2%
無回答	60	2.8%
合計	2,134	100.0%

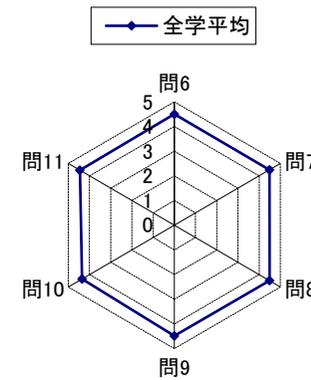
学年	回答件数	構成比
1年	643	30.1%
2年	1,066	50.0%
3年	360	16.9%
4年	0	0.0%
無回答	65	3.0%
合計	2,134	100.0%

性別	回答件数	構成比
男	65	3.0%
女	1,984	93.0%
無回答	85	4.0%
合計	2,134	100.0%

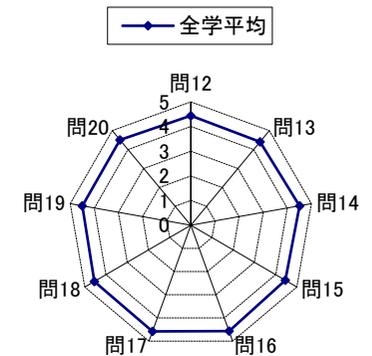
<学修意欲>



<授業内容>



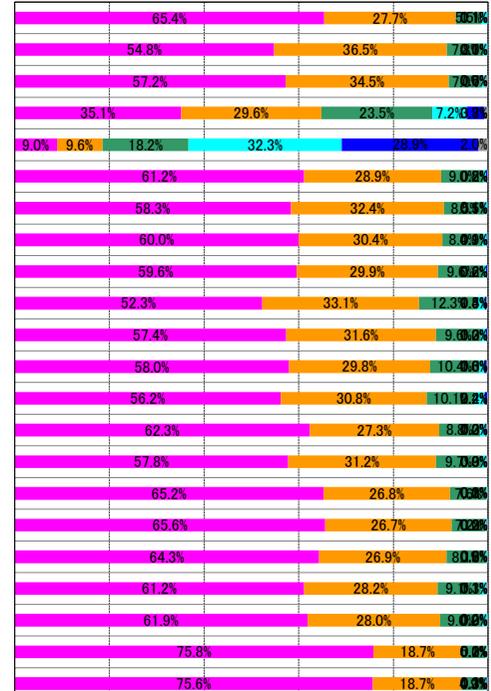
<授業方法>



■設問別評価集計表

学修意欲	アンケート設問内容	評価平均	評価構成 (件数)					無回答
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1	授業への出席率ほどの程度でしたか。	4.6	1,396	592	117	24	2	3
2	私語、居眠り、内職、携帯電話(メール)はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.5	1,169	779	166	16	1	3
3	学ぼうという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.5	1,221	736	150	14	1	12
4	よくわからないことは積極的に質問している。	3.9	750	632	502	154	78	18
5	この授業のために毎週平均どのぐらい予習または復習を行いましたか。	2.4	191	205	388	690	617	43
6	シラバスに基づき授業が進められた。	4.5	1,305	617	192	11	5	4
7	基礎的内容から徐々に応用、専門的内容へと発展性があった。	4.5	1,245	691	182	11	2	3
8	授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.5	1,280	648	180	20	3	3
9	授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性が感じられるものであった。	4.5	1,271	637	204	13	4	5
10	知的興奮を覚えたり、もっと勉強したいという気持ちになった。	4.4	1,116	707	263	33	8	7
11	この授業は全体として満足のいくものであった。	4.5	1,224	675	204	21	6	4
12	教科書、参考文献、教材(視聴覚教材を含む)などが、効果的に活用された。	4.4	1,237	636	221	22	12	6
13	授業を進める速さは適切であった。	4.4	1,200	657	215	48	9	5
14	教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.5	1,330	583	187	22	5	7
15	授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.5	1,233	666	208	19	1	7
16	教員は安全に対して十分に留意しつつ授業を行った。	4.6	1,392	571	163	3	1	4
17	教員の授業準備は十分であると感じた。	4.6	1,400	570	153	5	1	5
18	研究や教育に対する教員の熱意や真剣さが伝わってきた。	4.6	1,372	575	172	10	1	4
19	学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.5	1,305	602	195	23	2	7
20	学生と双方向の授業が展開されていた。	4.5	1,320	598	191	20	1	4
21	授業クラスの人数は適切である。	-	1,617	399	108	4	0	6
22	教室の広さや環境は適切である。	-	1,614	400	105	7	2	6

■評価5: と思う
■評価4: どちらかと言えば思う
■評価3: どちらとも言えない
■評価2: あまりそう思わない
■評価1: そう思わない
■無回答



(設問1) 評価5: 100%、評価4: 90%台、評価3: 80%台、評価2: 70%台、評価1: 70%未満

(設問5) 評価5: 3時間以上、評価4: 2~3時間、評価3: 1~2時間、評価2: 1時間未満、評価1: 0時間